

## (1) 運営計画の策定

### ア 全体概要

#### (ア) イベント概要

本事業の日時・会場等を十分に考慮し、東京 2020 大会のレガシーを活用した更なるスポーツ振興、パリ 2026 大会への機運醸成、東京の魅力発信及び地域振興に効果的なコンテンツを企画すること。企画内容はサステナビリティ・ダイバーシティに配慮し、子どもや地元住民も参加できるようなイベントとすること。また、企画にあたっては、海外で行われているサイクリングイベントや競技体験イベントの事例を複数収集し、それぞれのイベントの特徴や成功要素を抽出・分析した上で、本事業における集客やイベント運営、広報等に反映すること。

#### (イ) 当日スケジュール

#### (ウ) ライトイベントコース

コースについては委託者が提供するコース案をもとに、各協議先等の意見を踏まえ、調整すること。コースは非日常感を演出できるよう工夫を凝らし、単調な道路が続く箇所においても走行中に飽きないような仕掛けを検討すること。

#### (エ) 組織体制

#### (オ) イベント準備にかかる工程表

### イ イベント運営計画

#### (ア) 会場運営計画

スタート/フィニッシュ会場および多目的イベント実施会場におけるイベントの具体的な運営計画を作成すること。計画には各会場の諸室のレイアウト、必要な電源の確保、参加者及びスタッフの動線、VIP 動線・対応フロー、資機材や自転車等の搬出入フロー、清掃・廃棄物処理を含むこと。各会場におけるスタッフの休憩スペースおよび参加者及びスタッフのための適切な数のトイレの設置についても検討すること。会場の設えを検討する際には障がいのある方や性的マイノリティの参加者の来場も考慮に入れること。

#### (イ) オープニングセレモニー計画

参加者の盛り上げに寄与し、メディアにとってニュースバリューが高いオープニングセレモニーを計画すること。出演者については委託者と協議の上、決定すること。

#### (ウ) 輸送計画

参加者の満足度向上につながるよう、イベント実施場所および内容に応じて、参加者、自転車、その他必要物品の鉄道やバス、トラック等での輸送にかかる計画を作成すること。また、輸送に使用するバスやトラック等について、必要に応じて事前調査等を実施すること。

#### (エ) 駐車場計画

参加者、関係者車両、交通規制関係車両、運営資機材等の搬出入車両などの駐車場所について計画すること。参加者については駐車可能な上限を定め、申し込みのフローについても検討すること。

(オ) ボランティア計画

ボランティアの活動内容および活動人員数の検討を行い、募集、管理、連絡、研修、参加ツールなど、ボランティアに最大限活躍してもらうための計画を立案すること

(カ) 緊急時対応計画

荒天時や大規模自然災害発生時、イベントにかかる事故発生時など、当初計画通りのイベント運営が困難となった場合の対応について検討すること。

(キ) 救護医療計画

イベントの参加者、スタッフ、ボランティア、観客、歩行者等に傷病者が出た場合の医療対応について計画すること。計画には、救護施設の設置場所、必要となる機材や備品、搬送のフロー、人員体制などについて盛り込むこと。

(ク) 新型コロナウイルス対応計画

本事業実施時における国・都の方針・指針等を遵守し、委託者と協議の上、新型コロナウイルスの蔓延状況を複数想定し、それぞれの状況に応じた適切な対策を検討すること。各種の感染症対策は、必要な項目ごとに対策を整理すること。また、催物、スポーツイベント等に係る国や関係団体からの通知及びガイドラインなどを参考に感染症対策の実施レベルに応じ、適切な参加定員など大会規模を検討すること。変異ウイルス等の出現を踏まえ、イベント開催時期の状況に合った計画に随時変更すること。特に、受付、スタート、エイドステーション、フィニッシュの各会場については、重点的な対策を検討すること。来場者及びスタッフ等関係者から新型コロナウイルス感染症等の陽性者（感染疑い含む）が発生した場合の対応・連絡フローを事前に定めること。

(ケ) 事業効果測定計画

計画の作成に当たっては、本事業の効果を最大化するための KPI を設定し、それに向けての活動内容及び運営方法を提案すること。参加者数などの定量項目だけでなく、参加者、来場者、ボランティア等へアンケートを実施し、事業の満足度および、スポーツを「する、みる、支える」観点から事業効果を測定すること。なお、アンケートの回答結果は「上位」が回答者の 80%以上を占めることを目標とする。本事業の効果を測定可能な定性的および定量的な指標・実施方法等については、委託者と協議の上、決定すること。

## ウ ライドイベント計画

(ア) 参加者募集計画

計画には、参加規程、ルール、参加者募集フロー、キャンセルポリシーを含み、多くの

参加者の応募を目指せる計画とすること。募集にあたっては参加者のジェンダーバランスにも配慮をすること。参加者の募集受付には特設ウェブページのフォーム等を設置し、自転車持ち込みの有無、ファンライドや大会への参加経験、駐車場の利用有無なども確認すること。参加費用など詳細については、委託者と協議の上決定すること。

(イ) スタート/フィニッシュ計画

計画には、受付フロー、参加者走行管理の計画を含むこと。スタート/フィニッシュ会場については委託者が提示する場所をもとに協議の上決定する。

(ウ) 交通規制計画（交通量調査の実施を含む。）

委託者が提供するコース案に基づく制限区域、制限時間を記載した計画案を策定すること。なお、策定にあたっては、警察署管轄単位、制限ブロック単位など渉外調整を効率的に実施できるよう作成すること。

交通への影響に対し、交通量調査結果等を踏まえて、最も適切なる回路を設定すること。なお、交通規制中の歩行者等の横断運用も含めて記載すること。

本計画の作成にあたっては委託者が提示するコース案に基づき、委託者と協議の上、交通量調査を行うこと。調査はイベント実施前に交通規制計画を作成するに当たり実施するとともに、イベント当日にも調査を実施し、実際の交通規制が周辺道路等にどのような影響を与えたかについて調査すること。

(エ) 安全対策計画（資機材配置計画、警備計画を含む。）

イベントを安全・確実かつ円滑に実施するため、コース上及びコース周辺に設置すべきフェンス、防護ネット、柵、カラーコーン等資機材の設置場所及び設営（設置・撤去）方法、スケジュールなどを記載すること。コースには橋梁部等が含まれる可能性がある。また、勾配約5%の上り坂および下り坂が含まれるものとする。また、道路制限に伴うコース沿道及びその周辺地域における一般車両・歩行者、観戦者等の安全性を担保するための資機材、誘導案内看板等の数量、場所、規格及び設営運用等を記載した計画案を策定すること。

道路制限の実施に伴う、コース上及びその周辺における、人員の配置計画案を策定すること。なお、配置計画案には、配置図のほか、活動時間、人数及び具体的な活動内容（組織図、役割分担、スケジュール等）、配置運用方法を記載すること。

(オ) エイドステーション計画

設置場所についてはフィニッシュ会場のほか、コース上に2か所以上とし、委託者と協議の上、決定すること。参加者の満足度向上に寄与し、SNS等への投稿のモチベーションとなるよう、魅力のある飲食物提供を検討すること。また利用者がスムーズにサービスを利用できるよう、レイアウトを工夫すること。

(カ) シェアサイクル利用計画

参加規模や参加者の年齢層に応じた自転車を十分な数準備できるよう検討すること。調達するシェアサイクルの数は200台以上を最低ラインとし、可能な限り台数を増や

せるよう調整し、最終的な調達数は委託者と協議の上、決定すること。オ(エ)協賛・スポンサー計画 と併せて、企業等からの提供が可能か、協賛の点からも検討を行うこと。

#### (キ) 沿道応援計画

コース沿道での応援のためのスポットを複数設定すること。また、沿道観戦者の混雑時の管理や歩行者の安全な通行のため、適切な人員を配置すること。

### エ 多種目イベント計画

子どもや地元住民を含む一般市民が気軽に参加でき、自転車全般（自転車を使用した競技のみならず、普段の自転車利用に対する安全意識への向上なども含む）に興味を持つイベントとすること。また、自転車に関連するもの以外にも、東京 2020 大会で行われた競技を中心に競技やレクリエーションスポーツ等のデモンストレーション・体験イベントなど一般市民の興味と参加意欲を向上させる項目を含むこと。メイン会場とサブ会場を合わせて5箇所以上で実施することとし、体験イベントについては20種類以上の体験ができるようにすること。また、デジタルツールを活用した体験についても計画すること。コンテンツは健常者が楽しめるもののほか、障がいのある方や高齢者でも体験できるコンテンツも実施し、幅広い層が楽しめる内容とすること。

#### (ア) メイン会場イベント

会場はライドイベントのスタート/フィニッシュ場所近傍に2箇所以上、効果的な会場を委託者と協議の上、選定すること。

#### (イ) サブ会場イベント

会場は公共・民間施設、スポーツ施設、駅等の利用可能なスペースを使用し、その場所に最適なイベント内容を委託者と協議の上、3か所以上選定すること。また、メイン会場からの距離や動線等も踏まえ、イベント周辺エリアの周遊を促す仕組みを検討すること。

#### (ウ) DX を活用したスポーツイベント

参加者が集まりやすい会場を設定し、自転車および他競技の魅力を体験できる VR イベントや e スポーツ等を開催すること。また、その場に来場した参加者だけでなく、一部は自宅など遠隔地からも参加ができるような仕組みも検討すること。

### オ 広報・誘客計画

#### (ア) 広報計画（イベント撮影計画を含む。）

事業効果を最大化させる具体的な広報・プロモーション活動を、イベント実施前・イベント当日・イベント実施後の3つのフェーズに分けて企画すること。また、イベント当日のライドイベント撮影にはドローン等による空撮を必ず含めること。交通規制にかかる広報については、地元住民・事業者、東京及び周辺県からの交通流入等を想定し、効果的な施策を行うこと。

(イ)制作物計画

ライドイベント参加者への参加ツール、ボランティアへの参加ツール、多種目イベント参加者へのノベルティ、スタッフ着用アイテムなどの制作物の企画、制作・発送スケジュールを作成すること。各種制作物はイベント参加後の満足度が高まるものを柔軟に検討すること。

(ウ)誘客計画（飲食物提供計画を含む）

ライドイベントの観戦および多種目イベントに多くの人を誘引できるよう企画すること。また集まった参加者、観戦者等には飲食物を購入する機会を提供することも検討すること。飲食物の提供にあたっては可能な限りフードロスを減らすよう検討すること。新型コロナウイルスの感染状況によっては観戦自粛などの対応をすることも想定しておくこと。

(エ)協賛・スポンサー計画

イベントの目的に合った企業等から協賛金や備品などの提供を受けることができるよう検討すること。なお、協賛企業から本委託にて調達することとなっている備品等の提供があった場合には、委託金額を変更する場合がある。